

KEY TOPIC

## 行政の広報を担う『地域みっちゃく生活情報誌®』の在り方 信頼性の根幹

自治体は年間を通して実に様々な施策を実施しており、その情報を地域住民に広報することは、とても大切な周知活動です。多くの場合は自治体が発行する広報紙にその役割を委ねますが、より深く、強く伝えたい場合、『地域みっちゃく生活情報誌®』を利用いただく場合も多々あり、中広グループが発行している情報誌には多彩な行政情報が掲載されています。

### 地域課題解決に必要な行政情報の掲載

一般的に、フリーペーパーはグルメやビューティーなど消費に結びつく情報を重視し、行政情報は度外視してきた歴史があります。しかしフリーメディアである『地域みっちゃく生活情報誌®』は逆に、30年以上の歴史のなかで連綿と行政機関とのつながりを作ってきました。それには理由があります。

1994年、『地域みっちゃく生活情報誌®』の第一号である『かにさんくらぶ』を、岐阜県可児市で創刊しました。地域に根差した月刊情報誌を生み出す理由はいくつかありましたが、大きかったのは市民の融和でした。

当時、可児市は名古屋市に働きに出る人々のベッドタウンとして急速に発展していました。その結果、古くから住む住民と、新しく住み始めた住民の間には

壁が生じていたのです。その壁を取り払い、同じ可児市市民として融和を促したい。同じ地域の祭りに参加し、胸襟を開いてほしい。そのためのコンテンツとして、地域の生活情報誌に行政情報が必須だったのです。

行政機関から信頼いただくまで時間はかかりましたが、先達の熱意と努力の結果、中広4誌目の創刊となった『たんどんくらぶ』で、初めて市政情報を掲載。以来、地域読者に届けるべき地域情報の軸のひとつとして、行政情報は欠かせないコンテンツとなっています。

### 一軒一軒手配りで情報を届ける信頼性

『地域みっちゃく生活情報誌®』では年間を

通して多彩な行政情報を掲載。自治体で行われるイベントの告知、納税のお知らせ、健診の周知、自治体が開発した宅地分譲の案内、求人に至るまで、地域住民に伝えるべき大切な情報の広報手段として活用いただいています。掲載後は前年度よりもイベント参加人数が増えたなど、掲載効果にも満足をいただ



雪をかき分けてポストに情報誌を届ける(飛騨高山にて)

いています。

また、首長が交代すれば巻頭特集で県政や市政にかけける思いを掲載し、時の地方創生大臣にインタビューを実施したこともあります。各誌では毎月、発行エリアの市区町村長が市政や事業の進捗などを伝え、三重県と滋賀県の情報誌では知事のコラムも連載。毎年1月号では首長から読者に向けた新年の挨拶を掲載しています。2026年新年号では127人の首長に登場いただきました。

なぜ、行政の広報の役割を『地域みっちゃく生活情報誌®』が担えるのかというと、毎月、地域のご家庭に一軒一軒手配りするという配布網、地域内での占有率の高さ、そして何よりも、それを嘘偽りなく実行しているという信頼があるからです。

### 確かな倫理綱領も高い信頼性の礎

確固たる配布網以外にも、『地域みっちゃく生活情報誌®』の信頼性を裏付けるものがあります。それは倫理綱領と各種規定です。

- 一. 読者に対して、不安や悪影響を与えないものとする
- 一. 品位を損なわず、公序良俗を守る
- 一. 社会秩序を守り、関係諸法規に則る
- 一. 社会道義を重んじ、偽りのない情報を提供する

このように定めた倫理綱領は『地域みっちゃく生活情報誌®』の核心です。各戸に配布し、老若男女が目を通す媒体だからこそ、読者、クライアント、地域社会に対して掲載情報の責任を負わなければなりません。

この倫理綱領のもと、商法、民法、刑法などの基本法遵守に向けた全業種共通掲載基準があり、さらに特別法を念頭においた業種ごとの掲載基準を定め、掲載情報を厳しく精査。また、全ての掲載広告に適用される表記基準を策定し、読者に混乱や誤解を与えないよう細心の注意を払うのも、倫理綱領に則るためです。

雪が積もっても雨風が行く手を阻もうとも、厳しい目で磨き上げた確かな情報を地域の一軒一軒のお宅に届ける。当たり前として積み上げてきたこの姿勢こそ、行政から広報を任せていただける信頼性の根幹です。

『地域みっちゃく生活情報誌®』の目標は5,000万部、日本全国のご家庭にお配りすることです。ゆくゆくは国の広報を任せいただけるよう、今後も精進を重ねてまいります。

COLUMN

## 「変化こそ唯一の永遠である」 ——ハイブリッド広告とAI実践へ飽くなき挑戦——

### 政治の激変に見る時代の変化を読み解く

今回の第51回衆議院議員総選挙は、歴史に刻まれる戦いでした。解散から投票日まで戦後最短の日程で行われ、高市首相は「私で良いのか選択してほしい」と国民に問いました。結果は自民党が316議席、単独で定数の3分の2を確保する記録的大勝利に終わり、政治情勢は一気に変化しました。

「覚悟」「選択肢の明確化」「スピード」がもたらした勝利です。お見事な政治劇ですが、敢えて申し上げたい。勝つ過ぎには驕りが、慢心が伴うものです。勝つて兜の緒を締めよ。我々はもう一段深く考える必要があるのです。

一つは、頻繁な選挙が招くポピュリズムへの懸念です。時の権力者の裁量で、平均すれば約1年半に一度、衆院選挙をやっている計算になります。果たして、これで落ち着いた政治ができるのか。常に支持率を気にし、常に「次の選挙」に向けた発信をする。解散権の定義をより明確にすべき時期に来ているのではないのでしょうか。

もう一つは、「AI選挙」の危うさです。生成AIによるフェイク動画や画像が拡散し、過度な扇動や、無自覚な誘導が頻発する。公職選挙法の在り方は、強化・再定義が避けられません。我々広告人は、こうした流れを正確に理解する必要があります。時代の変化を知らずして、時代を動かすことはできないからです。

### ハイブリッド広告が創る新時代の広告価値

中広グループは創業以来、一貫して地域と向き合ってきました。全国各地で暮らし、働き、店を構え、挑戦を続ける人々の営みに寄り添い、広告という手段を通じて、その声を社会へ届ける。広告とは、人の思いを翻訳し、行動を生み、地域を動かす力です。これからその思いに些かの曇りもありません。

今、広告業界は大きな転換点に立っています。デジタル広告の進化は加速し、スピードも即効性も目覚ましいものがあります。「紙のメディアはもう古い」と切り捨てる風潮もありますが、私は断言します。紙のメディアが持つ価値は、決して過去のものではない。

毎月、家庭のポストに『地域みっちゃく生活情報誌®』が届く。食卓の片隅で読まれ、会話が生まれる。そこにあるのは、数字では測れない信頼と、地域の温度です。この「リアルな到達」

を、私たちは何十年にもわたって積み重ねてきました。

紙の価値を信じ、人の生活導線を理解し、地域の空気を肌で知っているからこそ、できる広告があります。紙で信頼を築き、ネットで関係を深め、行動を可視化し、成果を次につなぐ。それが、中広グループが推し進めるハイブリッド広告です。

このハイブリッド広告を武器に、『地域みっちゃく生活情報誌®』の総発行部数は1,210万部に至りました。これはまだ、目標とする5,000万部の4分の1に過ぎません。創業50周年には、日本の全世界の50%、2,500万部に至ることを目標に、リアルメディアの価値を問い続けていきます。



地球深部探査船 ちきゅう

### 仕事を人から仕組みへ GWSがAI実践を加速

良い仕事ほど、属人化しやすいデメリットがあります。しかし、それでは組織として地域を支え続けることはできません。だからこそ私たちは、仕事の基本構造そのものを変える決断をしました。その中核に据えたのが、仕事を“人”から“仕組み”へ引き上げるGWS(Google Workspace)です。

- ・情報が個人に閉じない
- ・判断の経緯が残る
- ・仕事の流れが可視化される
- ・誰が見ても理解でき、再現できる

GWSは、人を管理するためのツールではありません。人が迷わず、誠実に、上機嫌に、誇りを持って仕事ができる環境をつくるための土台です。GWSを前提に仕事を組み立てることで、初めてAIを真に生かす準備が整います。

AIは人の代わりでも、競う対象でもありません。人間の思考や感性を際立たせ、違いを浮かび上がらせ、可能性を拡張する存在です。相手を理解し、地域を読み、文脈を掴むこと。これらは、最後は人間にしかできません。GWSという仕組みの上で、AIと人が同志として自然に

連動する。それが、私たちの目指す実践です。

すべては、日本を元気にするために。改革の中心にあるのは、常にクライアントです。ハイブリッド広告とAI実践によって、私たちはより深く、より正確に、クライアントの課題と向き合えます。一社一社が元気になり、それが積み重なれば、地域に活力が生まれます。その連なりが、日本を元気にする。中広グループは紙を大切に、ネットを生かし、仕組みを整え、AIと共に働く。その覚悟を胸に、これからも躍進し続けます。

### 海洋資源開発と重なる中広グループの挑戦

私は今、日本の海洋資源開発の挑戦が、中広グループと重なる深い感動を覚えています。2013年、南鳥島沖の水深6,000メートルの海底に、レアアース泥が眠っていることが発見されました。その量、推計1,600万トン。国別埋蔵量で世界3位に匹敵する規模だと言います。

量もさることながら、レアアース泥は、陸上鉱石と違い放射性物質をほとんど含みません。まさに「夢の泥」です。地球深部探査船「ちきゅう」が、この夢の泥を吸い上げる挑戦を始めました。世界初の偉業です。商業化に成功すれば、日本は世界有数の生産国となる。ワクワクするのではないですか。

それだけではありません。南鳥島沖にはマンガン団塊、コバルトリッチクラストといった希少金属資源も確認されています。「日本には資源がない」と言われてきましたが、これでも本当にそう言えるのでしょうか。問題は資源の有無ではなく、資源を「ある」と信じ、国家として取りに行く覚悟があるかどうかです。海洋工学、資源地質学、深海底ポテックス。未来を切り拓く若者たちが、海に夢を見られる環境を整えることです。

大海原に憧れ、6,000メートルの闇に挑む海の男たち、女たちが、国家の威信を賭け命懸けて頑張る。これは単なる資源開発ではない。日本の精神の再起動です。眠れる海を、目覚めさせよ。その先に、希望の日本があります。

地球深部探査船「ちきゅう」が深海に挑む姿は、広告を通じて日本を元気にする中広グループの覚悟、そしてGWS導入への躊躇なき挑戦とオーバーラップして映ります。「知者不如好之者、好之者不如樂之者」と申します。日本の政治が、産業構造が変化しようとしている今、我々も新たな挑戦を楽しもうではないですか。さあ春がやってきます。今こそ目覚めよう。変化こそ唯一の永遠なのだから。

河津桜が咲いた。春・弥生、如水こと二代目後藤次

# 12,107,264部

※情報は2026年2月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を2025年9月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算  
※一部イレギュラーな発行に伴い3月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください  
※上記部数には設置・季刊誌媒体を含みません

北海道		
道内発行媒体数	道内総発行部数	
6誌	928,540部	

SORA vol.132	滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・奈井江町	41,500部 20日発行
--------------	-----------------------------	------------------

ふりっぼ vol.129	札幌市中央区・清田区・南区・中央区(東部)・北広島市大曲	229,675部 第4火曜日発行
--------------	------------------------------	---------------------

北東版 vol.211	札幌市北区・東区	236,370部 第4火曜日発行
-------------	----------	---------------------

白石区・厚別区版 vol.237	札幌市白石区・厚別区・中央区(前成川より東)・江別市大森地区	173,615部 第4火曜日発行
------------------	--------------------------------	---------------------

西区・手稲区版 vol.247	札幌市西区・手稲区・中央区(西部)・小樽市(一部)	186,380部 第4火曜日発行
-----------------	---------------------------	---------------------

AO vol.21	千歳市・恵庭市	61,000部 第4木曜日発行
-----------	---------	--------------------

岩手県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	1誌	120,000部	

ゆうゆう vol.578-579	盛岡市・滝沢市(一部)・矢巾町(一部)・紫波町(一部)	120,000部 最終火曜日より2週間前の木曜発行
------------------	-----------------------------	------------------------------

秋田県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	1誌	137,250部	

QKuRaSu vol.200	秋田市	137,250部 1日発行
-----------------	-----	------------------

宮城県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	5誌	607,850部	50%以上

ほっぺ vol.114	石巻市・東松島市	59,000部 20日発行
-------------	----------	------------------

さきさき vol.108	大崎市	40,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

とみぞ vol.131	仙台市泉区・富谷市	84,600部 20日発行
-------------	-----------	------------------

ほっぺ vol.125	名取市・岩沼市・亶理町・柴田町・大河原町	53,830部 20日発行
-------------	----------------------	------------------

ARIFT vol.1853	仙台市泉区・青葉区・若林区・太白区・宮城野区・富谷市・名取市・岩沼市・塩釜市・多賀城市・大和町・七ヶ浜町・利府町	370,420部 第4または第5金曜日発行
----------------	--	--------------------------

山形県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	2誌	216,550部	50%以上

あつまる vol.120	【東なおきたま版】米沢市・南陽市・高島町・川西町 【西なおきたま版】長井市・白鷹町・飯豊町・小国町	【東なおきたま版】60,000部 【西なおきたま版】22,000部
--------------	--	--------------------------------------

ARIFT vol.1853	東阿賀市・香取市・阿武隈下等市・山形市・天童市・東田川町・山形市・上山市・東田川町・山形市・天童市・東田川町・山形市・上山市・東田川町	134,550部 第4または第5金曜日発行
----------------	---	--------------------------

福島県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	2誌	86,500部	

すかお vol.119	須賀川市・楳石町・天栄村・玉川村・石川町・清川町・矢吹町・古鷹町・平田村	53,500部 25日発行
-------------	--------------------------------------	------------------

こみこ vol.41	白河市・西郷村・泉崎村・中島村	33,000部 25日発行
------------	-----------------	------------------

茨城県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
5誌	250,280部	

ひたち vol.196	日立市	62,000部 25日発行
-------------	-----	------------------

にしも vol.153	筑西市・下妻市・結城市	44,000部 25日発行
-------------	-------------	------------------

ここがも vol.129	古河市・埴科町・栃木県野木町	52,000部 25日発行
--------------	----------------	------------------

かす vol.148	鹿嶋市・神栖市・潮来市	50,000部 25日発行
------------	-------------	------------------

ちいき新聞 vol.459-462	守谷市・つくばみらい市・取手市	42,280部 毎週金曜日発行
-------------------	-----------------	--------------------

栃木県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	1誌	52,000部	

おりっぶ vol.117	小山市	52,000部 25日発行
--------------	-----	------------------

群馬県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	5誌	343,000部	

おっぴ vol.108	太田市	50,000部 25日発行
-------------	-----	------------------

桐生みどりFM vol.100	桐生市・みどり市	50,000部 25日発行
-----------------	----------	------------------

伊勢崎FM vol.145	伊勢崎市	63,000部 25日発行
---------------	------	------------------

前橋FM vol.145	前橋市	60,000部 25日発行
--------------	-----	------------------

高崎FM vol.340	高崎市	120,000部 25日発行
--------------	-----	-------------------

埼玉県 100万部以上!	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	9誌	1,065,165部	

クッキーズ vol.132	久喜市	52,000部 第4火曜日発行
---------------	-----	--------------------

とねい vol.132	羽生市・加須市・行田市	56,400部 第4火曜日発行
-------------	-------------	--------------------

MAZAR vol.123	熊谷市	62,000部 1日発行
---------------	-----	-----------------

Seven vol.66	深谷市	44,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

ほっぺ vol.666	所沢市・入間市・狭山市・飯能市・川越市・ふじみ野市・三芳町・富士見町・白雲市	175,045部 第2または第3金曜日発行
-------------	--	--------------------------

ARIFT	埼玉県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
		1誌	99,820部	

埼玉南版 vol.1851	志木市・新座市・朝霞市・和光市	81,190部 第2または第3金曜日発行
---------------	-----------------	-------------------------

埼玉南版 vol.1851	戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区・荻原区・桜区・中央区	247,930部 第2または第3金曜日発行
---------------	--------------------------------------	--------------------------

埼玉中央版 vol.1850	さいたま市西区・岩槻区・大宮区・見沼区・北区・上尾市・蓮田市・桶川市	159,510部 第1または第2金曜日発行
----------------	------------------------------------	--------------------------

埼玉東版 vol.1850	越谷市・春日部市・草加市・吉川市・三郷市・八潮市	187,090部 第1または第2金曜日発行
---------------	--------------------------	--------------------------

東京都	都内発行媒体数	都内総発行部数	都内世帯到達率
	1誌	99,820部	

ARIFT	東京都	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
		1誌	99,820部	

東京北東版 vol.1850	足立区	99,820部 第1または第2金曜日発行
----------------	-----	-------------------------

千葉県 100万部以上!		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
39誌	1,698,817部	50%以上

ちいき新聞	千葉県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
		1誌	42,280部	

佐倉西版 vol.2298-2301	佐倉市	43,645部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

東葉版 vol.2298-2301	八千代市	62,385部 毎週金曜日発行
-------------------	------	--------------------

八千代台版 vol.2298-2301	千葉市花見川区・八千代市・習志野市	43,285部 毎週金曜日発行
---------------------	-------------------	--------------------

習志野版 vol.2298-2301	習志野市・船橋市・千葉市花見川区	40,235部 毎週金曜日発行
--------------------	------------------	--------------------

船橋東版 vol.2298-2301	船橋市	46,540部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

津田版 vol.2298-2301	船橋市	40,170部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

習志野西版 vol.2298-2301	習志野市	38,455部 毎週金曜日発行
---------------------	------	--------------------

専務版 vol.2298-2301	千葉市花見川区・美浜区	37,835部 毎週金曜日発行
-------------------	-------------	--------------------

千葉NT版 vol.1413-1416	印西市・白井市	47,360部 毎週金曜日発行
---------------------	---------	--------------------

成田版 vol.1413-1416	成田市・栄町・富里市	42,040部 毎週金曜日発行
-------------------	------------	--------------------

佐倉東・酒々井版 vol.1413-1416	佐倉市・酒々井町	23,105部 毎週金曜日発行
------------------------	----------	--------------------

富里・八街版 vol.1413-1416	富里市・八街市・成田市	19,530部 毎週金曜日発行
----------------------	-------------	--------------------

船橋北版 vol.1295-1298	船橋市	32,620部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

鎌ヶ谷版 vol.1295-1298	鎌ヶ谷市・白井市	40,040部 毎週金曜日発行
--------------------	----------	--------------------

船橋南版 vol.1179-1182	船橋市	46,745部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

船橋中央版 vol.1179-1182	船橋市・市川市	47,325部 毎週金曜日発行
---------------------	---------	--------------------

八幡版 vol.1179-1182	市川市・松戸市	53,750部 毎週金曜日発行
-------------------	---------	--------------------

市川版 vol.1171-1174	市川市	40,585部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

船橋西版 vol.1179-1182	市川市・船橋市	56,055部 毎週金曜日発行
--------------------	---------	--------------------

美浜版 vol.1284-1287	千葉市美浜区	45,827部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

千葉北版 vol.1284-1287	千葉市花見川区・稲毛区	29,525部 毎週金曜日発行
--------------------	-------------	--------------------

若葉版 vol.1284-1287	千葉市若葉区・四街道市	43,740部 毎週金曜日発行
-------------------	-------------	--------------------

四街道版 vol.1284-1287	千葉市稲毛区・若葉区・四街道市	36,039部 毎週金曜日発行
--------------------	-----------------	--------------------

千葉中央版 vol.1284-1287	千葉中央区・稲毛区・若葉区	47,105部 毎週金曜日発行
---------------------	---------------	--------------------

稲毛版 vol.1284-1287	千葉市稲毛区	42,075部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

蘇我版 vol.1284-1287	千葉市中央区	33,041部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

千葉南版 vol.1284-1287	千葉市中央区・緑区・市原市	55,982部 毎週金曜日発行
--------------------	---------------	--------------------

市原版 vol.1186-1189	市原市	58,598部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

木更津・袖ヶ浦版 vol.1186-1189	袖ヶ浦市・木更津市	37,490部 毎週金曜日発行
------------------------	-----------	--------------------

松戸駅周辺版 vol.1171-1174	松戸市	62,430部 毎週金曜日発行
----------------------	-----	--------------------

八柱・五香版 vol.1165-1168	松戸市・柏市・鎌ヶ谷市	65,385部 毎週金曜日発行
----------------------	-------------	--------------------

新松戸・北小金版 vol.1165-1168	松戸市	63,575部 毎週金曜日発行
------------------------	-----	--------------------

神奈川県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
3誌	580,450部	

ARIFT	神奈川県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
		3誌	580,450部	

横浜南版 vol.1852	横浜市磯子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・地区・保土ヶ谷区	173,920部 第3または第4金曜日発行
---------------	---------------------------------------	--------------------------

横浜北版 vol.1852	横浜市港北区・鶴見区・神奈川区・青葉区・緑区・都筑区	226,800部 第3または第4金曜日発行
---------------	----------------------------	--------------------------

川崎・大田版 vol.1852	川崎市中原区・川崎区・宮前区・東京都大田区・品川区	179,730部 第3または第4金曜日発行
-----------------	---------------------------	--------------------------

新潟県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	5誌	343,000部	

まると下越! vol.95	新潟市・村上(一部)・新潟市北区(豊栄)・胎内市・聖籠町	54,000部 30日発行
---------------	------------------------------	------------------

まると豊栄! vol.143	三条市・燕市・加茂市・弥彦村	64,000部 25日発行
----------------	----------------	------------------

まると上越! vol.6	上越市・妙高市	63,000部 20日発行
--------------	---------	------------------

まると新潟! vol.501-502	長岡市・見附市・小千谷市	102,000部 第2-4土曜日発行
--------------------	--------------	-----------------------

富山県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	1誌	33,500部	

niikawa vol.5	魚津市・黒部市・清川市	33,500部 月末発行
---------------	-------------	-----------------

福井県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	1誌	33,928部	

kirameki club vol.213	敦賀市・美浜町	33,928部 25日発行
-----------------------	---------	------------------

山梨県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	3誌	154,000部	

ピレレ vol.163	笛吹市・山梨市・甲州市	38,000部 25日発行
-------------	-------------	------------------

Parupi vol.262	甲府市・甲斐市・中央市・昭和町	82,000部 第4火曜日発行
----------------	-----------------	--------------------

なないろ vol.151	韮崎市・北杜市	34,000部 20日発行
--------------	---------	------------------

長野県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	12誌	741,589部	87.9%

SARUBOBO vol.360	高山市・飛騨市・下呂市・白川村	54,500部 28日発行
------------------	-----------------	------------------

GUJO vol.207	郡上市	20,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

maika vol.234	中津川市・恵那市	44,600部 25日発行
---------------	----------	------------------

らせる vol.208	土岐市・瑞浪市	36,610部 25日発行
-------------	---------	------------------

おりべ vol.262	多治見市	44,970部 25日発行
-------------	------	------------------

かにさんくぶ vol.369	【かに版】可児市・御嵩町 【かも版】【かも版】坂祝町・川辺町・七宗町・白川町・富良町・東白川村	【かに版】44,470部 【かも版】31,150部
----------------	--	------------------------------

ぎららくらぶ vol.232	関市・美濃市	42,777部 20日発行
----------------	--------	------------------

たんと vol.259	各務原市	59,800部 20日発行
-------------	------	------------------

GIFUTO vol.202	【北年版】岐阜市北部・山県市 【南年版】岐阜市南部・岐津町・笠松町	【北年版】76,267部 【南年版】119,995部
----------------	--------------------------------------	-------------------------------

mintap vol.228	本美市・瑞穂市・北方町・大野町	47,000部 20日発行
----------------	-----------------	------------------

はしまる vol.108	羽島市	24,990部 25日発行
--------------	-----	------------------

Wao!Club vol.275	【南東版】大垣市南東部・海津市・安八町・輪之内町・妻老町 【北西版】大垣市北西部・瑞穂市・池田町・神戸町・関ヶ原町・善井町	【南東版】46,652部 【北西版】47,808部
------------------	--	------------------------------

静岡県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	8誌	501,080	

多様な視点から純地元産ワインの魅力を発信

地域みっちゃん生活情報誌

## 思いを届ける誌面づくりで地域の絆を可視化

三重県伊勢市ほかで発行する『イセラクラブ』にて、純伊勢産の伊勢ワインをテーマにした巻頭特集を掲載しました。伊勢ワインは、就労支援施設「ジョブスタジオ伊勢」の利用者が育てたブドウを、伊勢ワイン株式会社が醸造されています。このワインを通じた地域の連携や、施設利用者の活躍を広く発信したいという思いから、座談会形式で特集しました。



座談会には、ホテル・レストラン・酒販店・行政関係者が参加し、ワインの魅力や商品としての価値だけでなく、地域が連携して支える意義や今後の広がりについても紹介。多様な立場の声を載せ、地域に根づくまでのストーリーを立体的に伝えました。デザイン面では、ワインの上質感と人の思いが伝わる写真選びやレイアウトを工夫し、巻頭特集らしい存在感のある誌面に、掲載後は、伊勢ワインの認知向上に加え、利用者の活躍の場を広げたいという取り組みへの共感の声も寄せられました。

(イセラクラブ編集室・脇坂)

若手・女性消防団員の活躍を紹介

地域みっちゃん生活情報誌

## 消防団と読者を結び、地域防災の未来を後押し

地域防災の要である消防団ですが、近年は全国的な担い手不足が課題となっています。岐阜県飛騨地域で発行する『SARUBOBO』では、昨年1月号にて、「飛騨を守る消防団員たち」をテーマに団員募集告知を掲載。好評を受け、今回はさらに表紙・巻頭特集を含めてご掲載いただきました。



巻頭特集では女性団員の活躍にスポットを当て、高山市消防団女性部誕生のきっかけや全国大会での活躍、日々の活動、家庭との両立などを紹介。続くフリー広告では、飛騨地域の若手消防団員の皆さんに登場いただき、入団のきっかけや活動の中で頑張っていることについてインタビューしました。

実際の団員のリアルな声を掲載することで、読者が消防団をより身近に感じ、応募者増加の一助となるよう誌面を構成しました。読者ハガキには多くの反響があり、消防団について興味を持っていただくきっかけをつくることができました。

(SARUBOBO編集室・池田)

残したい食文化を後世へと届ける

地域みっちゃん生活情報誌

## 受け継がれる郷土料理の魅力と歴史を発信

昔は家庭料理として愛されてきた郷土料理ですが、現代では食べる機会が減り、地元の食文化が希薄になりつつあります。こうした課題に対し、鳥取県食バラダイス推進課から相談を受けたことがきっかけで、鳥取3誌合同の表紙・巻頭特集が実現いたしました。



鳥取の郷土料理といえば「雑煮」。小豆を用いた、ぜんざいのような甘い雑煮が親しまれています。全国的にも珍しいこの食文化は郷土料理の魅力を紹介する上で欠かせないと、1月号で掲載しました。

県内でも地域ごとに特色が分かれる郷土料理ですが、自分の地域の味を知らない人も少なくありません。そこで誌面では、県内各エリアの郷土料理を紹介。伝統的な家庭の味を気軽に楽しんでほしいという思いから、レシピも掲載しました。読者から「初めて郷土料理に挑戦してみます」といった声をいただくなど、食文化継承の一助となれたことをうれしく思います。

(つばさ編集室・谷口)

名古屋高速道路公社「naco」2026年春夏号 企画・制作

冊子

## 営業×クリエイティブでおでかけ情報を提案

中部プロモーション事業部では、営業チームとクリエイティブチームが連携し、それぞれの強みを生かして数多くのプロポーザルに取り組んでいます。企画立案から表現設計、制作・進行管理までをワンチームで担うことで、クライアントに寄り添った提案を実現してきました。

名古屋高速道路公社が発行するおでかけ情報冊子「naco」の企画・制作も、その一つです。2026年春夏号では、愛知県大高エリア、刈谷・豊明エリアを特集。5月の大型連休や夏休みなど、家族でのおでかけ需要が高まるシーズンに合わせ、レジャー施設や飲食店等を紹介しています。高速道路の仕組みや役割のほか、普段はなかなか知ることのできない「高速道路の秘密」を親子で楽しく学べる記事も掲載。遊びながら学べる構成とすることで、読み物としての満足度も高めています。冊子は近隣のSA・PAや道の駅などに設置しているほか、ウェブでも閲覧可能です。

(中部クリエイティブ課・山口)



HAPPY MEDIA

## 『ままこっと®』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン



【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園  
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等  
【仕様】 冊子A5版 オールカラー

【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)  
【発行部数】 みやぎ版/25,000部 ちば(中部版)/50,000部 群馬版/57,000部 ちば(北西部版)/50,000部 埼玉東版/25,000部 岐阜版/57,000部

## 『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア



【配布先】 高校  
【仕様】 冊子A4 オールカラー  
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

## 『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア



【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など  
【発行部数】 青森版/12,000部 富山版/12,000部 秋田版/12,000部 石川・福井版/12,000部 岩手版/12,000部 山形版/12,000部 宮城版/33,000部  
【仕様】 冊子AB版 オールカラー  
【発行時期】 隔週(月・火)※山形月一

## 「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス



【登録講師数】 7,000名  
【年間実施件数】 400件以上

クリック

クーポンアプリ「フリモ」  
50%オフダウンロード突破!

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に!切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!  
※ダウンロード数 543,544件 (2026年2月17日現在)



クリック

CHUCO CLUB

## 第3四半期連結決算発表

2月6日に中広第48期第3四半期連結決算短信を開示しました。当累計期間(2025年4月~12月)の売上高は88億2500万円(前年同期比+6.1%)、経常利益は1億4900万円(同▲6.5%)と利益面では前年同期比マイナスでした。しかし、第3四半期(10~12月)において経常利益を1億1700万円(前年3Qの約2倍)積上げるなど、下期の業績基調は大幅に改善しており、期初発表の通期増益見込みに向けて弾みがつく決算となりました。

(管理本部・倉橋)

## 新卒・中途別のイベントを開催

人材確保は、企業にとって売上向上と持続的成長の基盤となる最重要戦略です。労働人口の減少にともない、あらゆる企業がいま、人材の早期確保に尽力しています。

その取り組みの一つであるインターンシップは、1月29日に今年度の最終回を迎えました。計4回の参加者は45名、5段階評価のアンケートで満足度4.53となり、学生からは好意的な意見が多く寄せられました。

そして今年度、新たに1月からスタートした人材確保の取り組みがオンライン会社説明会です。「応募したいけれど仕事内容がよくわからない」といった求職者の疑問を解消すべく、月に一度の会社説明会を実施しています。

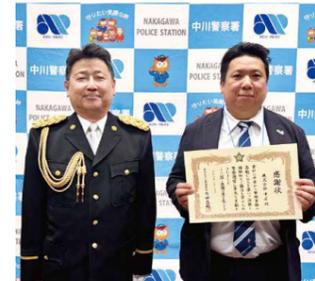
『地域みっちゃん生活情報誌』の発行部数5,000万部の実現にはまだまだ「人財」が必要です。皆さんの身近に興味のある方がおられましたら、ぜひ説明会への参加をお勧めください。

(人財開発課・延原)

CHUCO GROUP CSR 当社では、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

去る1月15日、「令和8年 愛知県中川警察署 感謝状贈呈式」が執り行われ、中川警察署長より弊社へ感謝状が贈呈されました。これは名古屋市中川区・中村区・港区で発行する『フリモUP』の誌面を通じて、防犯意識の向上や犯罪抑止の啓発に努めてきた点を高く評価いただいたものです。今後も地域に必要な情報をお届けし、経済の活性化はもちろん、安心安全を守る取り組みを続けてまいります。

(フリモUP編集室・島田)



VCTOPIC

新潟県「まるごと県央!」株式会社まるごとメディア新潟

## 冬の県央を熱くする!「麻婆料理特集」が大反響

新潟県県央地域(三条市、燕市、加茂市、弥彦村)で64,000部を発行する「まるごと県央!」では、この冬、地元の人気飲食店10店舗を紹介する「麻婆料理特集」を企画。従来のラーメン特集が定番化する中で、あえて「麻婆」に絞った切り口で、新たな地域の魅力を深掘りしました。

発行後の読者アンケートでは、回答者の約半数が本企画にコメントするというこれまでにない注目度となりました。この反響はクライアントにとっても大きな成果となったほか、本企画をきっかけに多くの新規・休眠店舗との関係性も生まれるなど、営業面でも手ごたえのある結果となりました。これからは「読んで楽しい、使ってうれしい」特集を通じ、県央エリアの元気を発信し続けてまいります。



▲ 2月号特集企画「県央の絶品麻婆」

部署だより NO.146

FM事業部

## 『たんとんくらぶ』編集室



▲ 『たんとんくらぶ』編集室のスタッフ

岐阜県各務原市は、豊かな自然と都市機能がほどよく調和し、子育て世代からシニアまで多くの人が暮らすまちです。

そんな各務原市を発行エリアとする『地域みっちゃん生活情報誌』が「たんとんくらぶ」。私たちはこのまちで暮らし、働く人々をつなぎ、地域全体の活性化に貢献することを使命に、日々誌面づくりに取り組んでいます。店舗や企業の魅力、地域で活躍する人の思い、暮らしに役立つ身近な情報、語り継ぎたいまちの歴史まで、ネット検索だけでは見えてこない「地域の今」を丁寧に取材し、わかりやすく発信することが編集室の役割です。

編集室は男性2名・女性2名の4名体制。いずれも地域情報誌づくりに長く携わってきたベテラン揃いで、企画力・取材力・編集力を生かしながら、読者と地域、企業をつなぐ一冊を目指しています。『たんとんくらぶ』はこれからも、各務原市の魅力を掘り下げ、地域に新たな活力を生み出す情報を発信し続けます。

(たんとんくらぶ編集室・加藤)

## 編集後記

私ごとですが——この言葉から連想する出来事は二通りあります。今回は、うれしいご報告が続きました。

この中広報を毎月制作してくれているデザイナー2名が、めでたく入籍されるとのこと。本当におめでとうございます。誰かの人生の節目に立ち会えるのは、なんとも幸せな気持ちになるものです。そんなお二人が手掛ける中広報は、もはや縁起物と言ってもよいかもしれません。

わが社の合言葉は「上機嫌」。もちろん気分が沈む日もありますが、そんなときこそおいしいものを味わい、ぐっと口角を上げてみる。それだけで不思議と心は軽くなるものです。不機嫌は人を遠ざけ、仕事も遠ざけます。私たちの仕事の根幹はコミュニケーションであり、笑顔は信頼を生む第一歩。これからも、ハッピーをお届けできるチームでありたいと思います。

(広報・マーケティング 岡本)



# プロモーション 日本最大級の発行部数 地域密着メディアで全国の課題解決へ

第48期春、中広SP部門は大幅な組織刷新を実施し、東京プロモーション・中部プロモーション・ビジネスプロデュースの3事業部体制へ再編しました。東京プロモーション事業部は、創業当初から培ってきたプロモーション力や、自社が展開する全国173誌1,210万部にも及ぶ、ポスティングネットワークといった自社アセットを最大限に生かし、東京を起点に全国各地の地域課題・企業課題の解決に取り組んでいます。

ニューメディアやAIの登場により、情報接触の多様化が進む中、企業と生活者の関係構築は大きな転換期を迎えています。広告は単なる発信手段ではなく、最適な“接点”を設計し、クライアントと生活者を確実に結びつける役割がより一層求められています。当社では、媒体の形にとらわれることなく、クライアント固有の課題の本質に向き合いながら、地域に根差したコミュニケーションの創出に挑戦を続けています。

## 官民連携の強化で飛躍

### 中高年の健康を守る「特定保健指導事例集」全国健康保険協会(協会けんぽ)(公的医療保険)

協会けんぽは国民の健康をサポートするなかで中高年の健康を促進する特定保健指導を実施しています。

この度、協会けんぽが実際に特定保健指導を行う機関において現場で活用できるヒントをまとめた冊子の制作を企画。当社はこの事例集制作にあたり、特定保健指導を行う機関での取材や撮影、一冊にまとめるための協力をさせていただきました。

本件だけではなく、行政の課題に合わせて啓発ツールの制作、PRに向けたイベントやキャンペーンの提案など、私たちに何が出来るのかを考え提案しています。



## 市場規模の拡大へ

### さい帯血バンク市場シェア99%以上 ステムセル研究所 (民間さい帯血・さい帯バンク)

ステムセル研究所は、「さい帯およびさい帯血(へその緒に含まれる血液)」を凍結保

存する、国内最大手のさい帯血バンクです。出産時にのみ採取できる貴重な幹細胞を長期保存し、将来の病気(脳性麻痺や自閉症など)の治療に備える選択肢を提供しています。厚生労働省の許可を受けた特定細胞加工物製造事業者として、国内シェアは99.8%を誇ります。



東京PM課では、同社の販促物の制作・印刷を担当。一生に一度しかない大切な機会を全国の産院や妊婦さんに伝えるため、パンフレットやDM、キャンペーンチラシなどの制作を通じて啓蒙活動を支援しています。未来の医療の可能性を広げる取り組みに関わることに、大きなやりがいを感じています。

## 高感度層へのアプローチ

### 全国350以上の有料老人ホームを運営 ベネッセスタイルケア (高齢者介護サービス事業ほか)

業界最大手の株式会社ベネッセスタイルケアにおいて、各地域のターゲット・行動動線に合わせた、有料老人ホームへの入居促進プロモーションをサポートいたしました。

東京23区エリアでは「高感度層への多角的アプローチ」として富裕層や共働き世代をターゲットに、マンションサイネージ、駅看板、バス広告を実施。生活圏内での接触頻度を

高め、ブランドの信頼性を醸成しました。東京多摩エリアでは、地域に密着した情報提供として、じっくり読み込める地域の情報誌を活用し、暮らしに溶け込んだ訴求を行っています。



埼玉県エリアでは「広域認知と親近感の醸成」として、『地域みっちゃん生活情報誌』に加え、車社会を考慮した「ラジオCM」や「バス広告」を実施し、多媒体の相乗効果で、地域における認知を網羅的に展開しています。地域の市場特性に合わせたメディアミックスを選択することで、エリアごとに最適であり、ターゲットにตอบสนองするプロモーションを支援いたしました。

## 今後の展望

### 東京から全国へ

東京プロモーション事業部は、『地域みっちゃん生活情報誌』と「総合広告代理業」という中広ならではのアセットを軸に、大手企業の販促促進から社会貢献型事業まで、他社にはない価値提供を実現してきました。

今後は、これらの成功事例を再現性のあるモデルとして磨き込み、全国各地への横展開をさらに加速させていきます。併せて、地域特性を捉えた提案力と実行力を高め、より多くの企業・自治体・地域社会の課題解決に貢献してまいります。「東京発・全国展開」をキーワードに、中広グループの成長と社会的価値の最大化を目指し、次のステージへ挑戦を続けていきます。

会社概要	商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】 創業 1978年 資本金 4億430万円 従業員 418名 グループ全体 732名 (2026年2月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 プロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」(地方創生!) 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織!) 機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社訓	飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぽど 株式会社まちトピア 株式会社中広ワークイン	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp https://www.machitopia.com https://chuco-workin.co.jp

第48期 基本方針

スローガン Data Driven Innovation テーマ 生産性向上

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見積サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMMN)	リンク集はこちら
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter)	
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会	

2017年取得 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です

2016年取得 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

年	会社のおゆみ	HAPPY MEDIA®のおゆみ
1978	設立 後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県「[かにさんくらぶ]」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●50万部達成
2008		●福井県進出
		講演会インフォ公式ウェブサイト開始
		●100万部達成
		●愛知県進出
2009		
2010		
2011	●児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始	
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始(VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2013		●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2016		●高知県・福島県・長野県・京都府進出 「ままここと」創刊
2017		●東京都・愛媛県・静岡県・宮城県・奈良県進出
2018	●児童虐待防止運動を全国へ展開 ●愛知県交通事故死者数 全国ワースト脱却CP開始	●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2019	後藤一俊会長就任 中島永次社長就任	[Start!]創刊
2020	●愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP達成 岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	クーポンアプリ「フリモ」開始
2022	大島資社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社中広メディアソリューションズグループ化 株式会社ケイ・クリエイト/株式会社ケイビーエスグループ化	●1,000万部達成
2023	株式会社関西ぽどグループ化 ●児童虐待防止運動の一環で 井上ぼんおんレンジシンボル運動を開始	●神奈川県進出
2024	●児童虐待防止運動が 文部科学省と子ども家庭庁を後援活動に 株式会社まちトピア設立 株式会社中広ワークイン グループ化	●広島県・秋田県・千葉県・岩手県進出
2025		●青森県・石川県・富山県進出

※従業員数はグループ会社含む ●おもなCSR・CSV活動 ●地域みっちゃん生活情報誌®

## 営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27 名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ FM事業部 《北海道》 SORA編集部 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>AO編集部 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704</p> <p>《宮城県》 とみず!編集部 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集部 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっぺ!編集部 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集部 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711</p> <p>伊勢崎フリモ 太田フリモ編集部 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集部 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p> <p>《埼玉県》 クッキーズ・とねじん編集部 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881</p> <p>《富山県》 いかわプラス編集部 魚津市新金屋1-12-38 4F TEL.0765-57-5120</p>	<p>《福井県》 きらめきくらぶ編集部 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《山梨県》 ParuPi・ピグレ編集部 甲府市上石田4-1-10 TEL.055-221-0682</p> <p>《岐阜県》 GIFUTO編集部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集部 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集部 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集部 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんとんくらぶ編集部 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きららくらぶ編集部 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集部 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おりべくらぶ・らせくらぶ編集部 多治見市太平町4-38 [おりべくらぶ]TEL.0572-21-2626 [らせくらぶ]TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集部 中津川市駒場字青木429-3 TEL.0573-62-2522</p> <p>《愛知県》 フリモUP編集部 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>緑区フリモ編集部 名古屋市中区六田1-150 2F TEL.052-829-0270</p>	<p>山山フリモ・アサヒセット編集部 尾張旭市東本町4ヶ原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒセット]TEL.0561-42-6981</p> <p>ゆいまるくらぶ・かなうくらぶ あやもっこ編集部 愛知県東郷町北山台4-1-6 TEL.0749-68-2577 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855 [あやもっこ]TEL.0561-42-4885</p> <p>cocolo club・安城フリモ 北知多フリモ編集部 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077</p> <p>リフル倶楽部編集部 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ編集部 岡崎市明大寺町字川端19-13 4F TEL.0564-83-7121</p> <p>西尾フリモ・オレンジクラブ編集部 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763</p> <p>《三重県》 ぼろんくらぶ編集部 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988</p> <p>Bellve club編集部 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400</p> <p>つよいちあい編集部 四日市市緑の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>つっぴーず編集部 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666</p> <p>リー・ガクラブ編集部 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156</p> <p>ふぁみんくらぶ編集部 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセラクラブ編集部 伊勢市岩瀬3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からつと倶楽部編集部 尾鷲市本町6-52 2F TEL.0597-37-4100</p>	<p>さみっとくらぶ編集部 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>《滋賀県》 ぼてじや倶楽部編集部 長浜市宮町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんきくらぶ編集部 彦根市長曽根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウティクラブ編集部 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p> <p>ひわこと編集部 [大津北版][草津・守山版] 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かしのくらぶ編集部 橿原市新賀町237-1 2F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいながが・まいとん編集部 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集部 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集部 倉吉市市街540-1 4F TEL.0858-27-0510</p> <p>こはくくらぶ編集部 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《広島県》 はつカラ編集部 廿日市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673</p> <p>えるびん編集部 福山市西町2丁目5-5 2F TEL.084-999-1535</p> <p>《福岡県》 まいたうん編集部 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p>	<p>むなふ・おるね編集部 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102</p> <p>《佐賀県》 月刊TOSS編集部 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619</p> <p>■ 東京プロモーション事業部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p> <p>ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611</p> <p>■ 中部プロモーション事業部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p> <p>■ ビジネスプロデュース事業部 ビジネスプロデュース部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>関西プロモーション部 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>九州プロモーション部 北九州市小倉北区京町1-3-15 4F TEL.093-383-7581</p> <p>■ アライアンス事業部 VC部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>■ EC統括室 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745</p> <p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p>	<p>■ グループ会社</p> <p>株式会社 中広ワークイン 本社 仙台市若林区舟丁18-2 3F TEL.022-706-1481</p> <p>青森営業所 TEL.017-742-4560 八戸オフィス TEL.017-742-4560 秋田営業所 TEL.018-833-4510 盛岡営業所 TEL.019-624-4512 仙台営業所 TEL.022-225-8010 山形営業所 TEL.023-641-9012 福島オフィス TEL.023-641-9012 東京オフィス TEL.03-5484-8830 富山営業所 TEL.076-442-5805 金沢営業所 TEL.076-223-7581 大阪オフィス TEL.06-7178-0531</p> <p>株式会社 関西ぽど 本社 大阪市西区槻本町1-10-24 5F TEL.06-6479-3113</p> <p>北大阪支社 TEL.072-827-0810 東大阪営業部 TEL.06-6729-8101</p> <p>株式会社 中広メディアソリューションズ 本社 / 横浜オフィス 横浜市西区みなとみらい3-3-3 11F TEL.045-514-1409</p> <p>埼玉オフィス TEL.048-767-8238 仙台オフィス TEL.022-792-8101 山形オフィス TEL.023-616-7390</p> <p>株式会社 ケイ・クリエイト 一宮本社 一宮市木曽川町里小牧東125 TEL.0586-86-0608</p> <p>岩倉支社 TEL.0587-96-8331 静岡オフィス 須須支社 準備中</p> <p>株式会社 ケイビーエス 本社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p> <p>大阪支社 TEL.06-6780-3270</p> <p>株式会社 まちトピア 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p>
--	--	--	---	---	---